



有償SOの発行とその背景について

株式会社トリプルアイズ

(証券コード 5026)

2025年2月28日

CONTENTS

今回ご説明したい概要

経営危機から新たな成長フェーズへ



福原急逝後、
第2創業期の
山田体制がスタート

第3創業期の
3社体制への移行
有償SOを発行

CONTENTS

当社のこれまでの軌跡

前代表取締役・福原智の急逝により、
山田雄一郎が代表取締役に就任

コロナ禍の環境変化による
AIZEサービス進捗と共に
上場審査進捗

AIZEサービス
大手スーパー大型受注

21年3月創業者急逝
山田代表就任
全役員結束し、代表決定と
上場を目指すことを確認

21年6月会社スローガン
「エンジニア成長第一主義」
を全社員に発表

代表による
債務保証変更手続実施

加藤がCFO
として入社

証券による
上場審査開始

新卒16名入社

通期経常利益
0.8億円

20年1月に創業社長と山田が出会い
8月にCFOとして入社

～第1Q

通期経常損失
△1.6億円

2021
第1Q

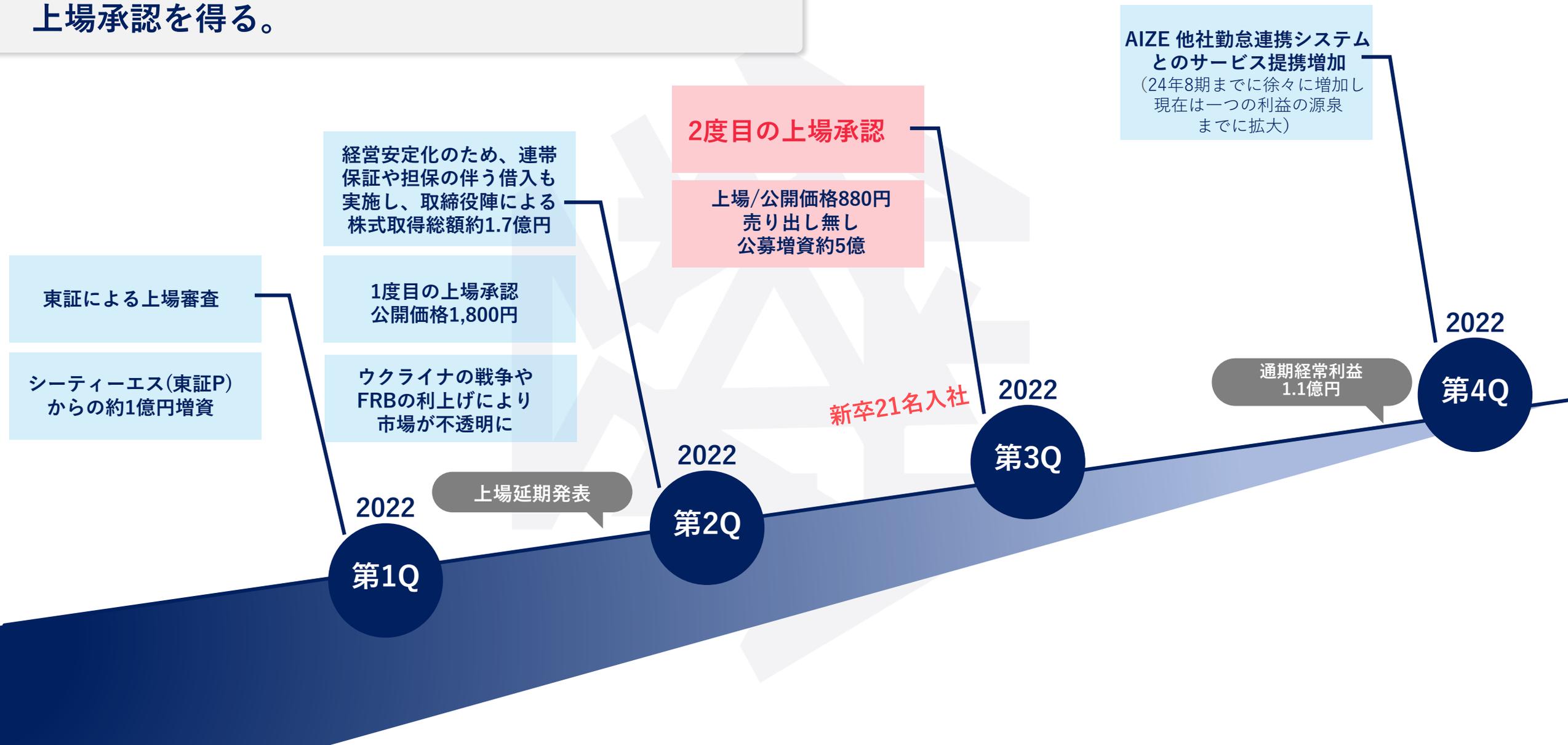
2021
第2Q

2021
第3Q

2021
第4Q

社員、取引先、金融機関、株主との会話の継続

積年の夢が叶うも。それでも諦めず2度目の
上場承認を得る。



経営環境の悪化、投資有価証券評価損等により
業績悪化、下方修正へ

事業提携や資本業務提携を
積極的に実施

コロナ禍の状況変化による
顔認証プロダクトの
ハード売上の減少

22年10月予定のアルコール
検知に関する道路交通法
改正予定の延期も重なり、
業績下方修正（次頁詳細）

経常利益0.2億円→△2.0億円
最終利益0.2億円→△5.8億円

2023

第1Q

決算発表後 4/17
株価最安値591円

2023

第2Q

延期となっていた道路交
通法の改正施行日が決定
し、AIZE Breath（顔認
証とアルコール検知を組
み合わせたサービスに係
る市場が拡大する機運に

新卒27名入社

2023

第3Q

ゼロフィールドM&A発表

M&A手数料計上に伴う
2度目の業績下方修正

投資有価証券評価損による
3度目の業績下方修正

経常利益△2.9億円
最終利益△8.2億円

2023

第4Q

2Qの下方修正以降既存事業の利益構造改善に取り組む

ゼロフィールドM&Aスキーム設計

2023年8月期 第2四半期決算説明資料より

決算概況

減損損失、ソフトウェア評価損の計上とその背景

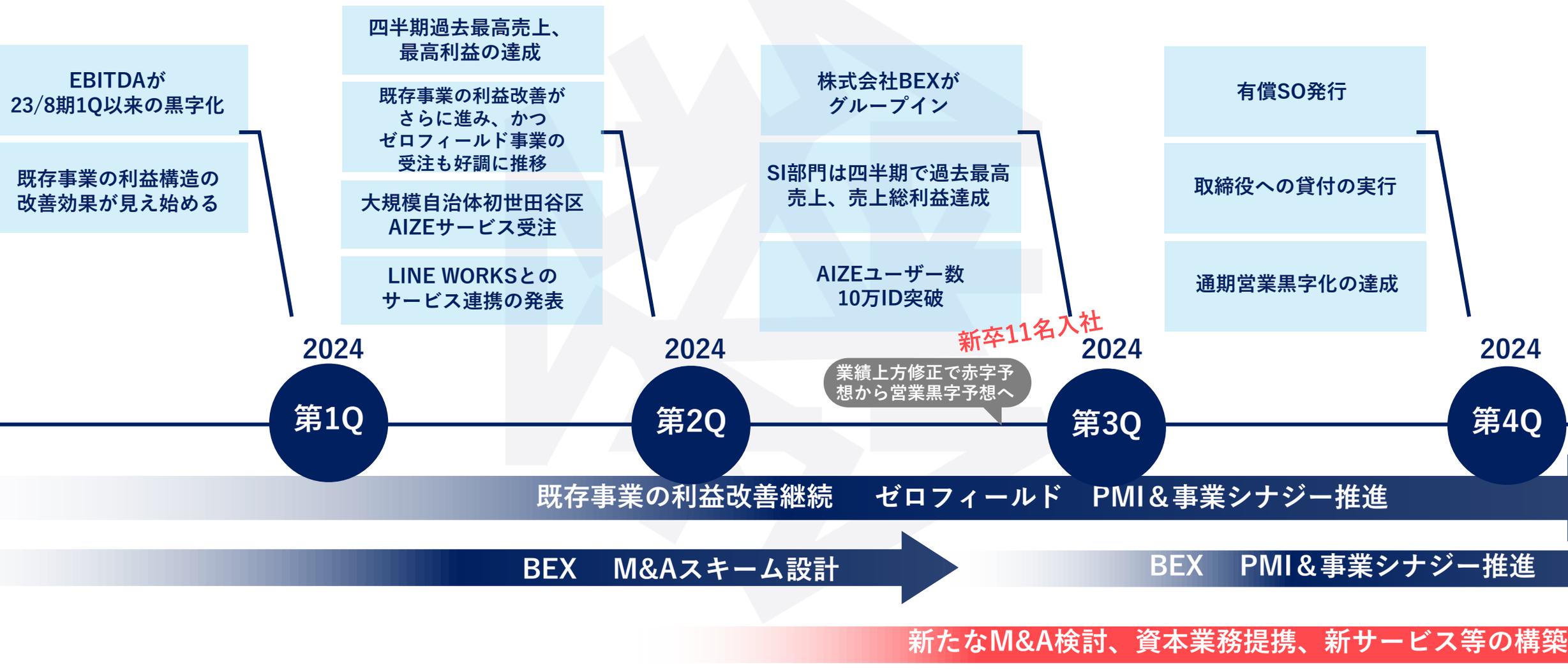
6

AIソリューションセグメントにおいて、減損損失324百万円を、ソフトウェア評価損26百万円をそれぞれ計上しております。背景には以下の社会情勢、当社の判断がございます。

- 当社グループの「AIソリューション事業」セグメントにおいて、新型コロナウイルス感染症対策として提供してきた自動検温装置と画像認識技術を結合したサービスに関して、**2023年1月27日に政府により発表された新型コロナウイルス感染症に対する感染症法上の位置づけの変更(2類感染症から5類感染症への変更)**等に伴い、需要の低下に影響を及ぼしております。
- また、当社グループは、**顔認証AIが世の中に欠かせないテクノロジーとして社会に広く実装されるよう**、大手企業含むパートナーとも協働し取り組んでおりますが、当該位置づけの変更に伴い、**人々の生活や行動を変えるシステム実装には当初の想定以上に丁寧な検討を行い、時間をかけることが必要**であり、あわせて、これらに関するシステム実装の規模拡大や収益化も短期の見込み数値として織り込むべきではないと判断いたしました。
- 具体的には、当社グループの当初の想定では、2023年8月期中に、新型コロナウイルス感染症への対策の一環で、マスクを着用した状態でも利用可能な精度を持つ顔認証AIが搭載された製品またはサービスが、大手企業含め広く使われるようになり、当社グループの売上高も増加する前提でございました。
- また、アルコール検知器と顔認証AIの連携サービスにつきましても、**2022年10月に予定されていた改正道路交通法施行が延期し、その再施行を見据えた営業活動を**推進してございました。
- 一方で、当該位置づけの変更に伴い、**当社グループの顧客において、今後の新型コロナウイルス感染症への個人の対応が多様**となる中で、顔認証AIが搭載された製品またはサービスの導入をペンディングまたは見送るケースが発生しております。
- また、複数の顧客へヒアリングを行った結果、再度導入検討を行う際は、単なる新型コロナウイルス感染症対策のための非接触を目的としたものではなく、利便性や効率性の向上等を目的としたケースが多く、顧客での設備投資予算や、当社でのカスタマイズを行う時間の確保等を踏まえると、**当社グループの業績へ織り込むタイミングはこの半年～1年等の短期的なスパンではなく、2年程度かけた中長期的な時間軸であると判断**したため、想定を変更いたしました。

当社グループでは従前より、AIZE部門におけるソフトウェア開発に関する費用(主にエンジニアの person 費/外注費)は、将来の収益獲得に結びつくことが確実な費用の前払いであると判断し、資産計上をしてございました。当第2四半期において、**上記の現状を踏まえ、将来の一定期間にわたって償却予定であったものを、減損損失/ソフトウェア評価損として費用化**を行います。また、2023年8月期第3四半期以降に発生するソフトウェア開発に関する費用は、研究開発費として費用処理を行うことといたします。また、これらを踏まえ、業績予想の修正を行っております。

既存事業の利益改善、M&Aによるシナジー効果で
過去最高売上、売上総利益達成へ



CONTENTS

3 社体制での成長

売上高

過去
最高

4,410百万円
(通期前年同期比 **188.0%**)

営業利益

黒字化

38百万円
(通期前年同期比 **308**百万円の改善)

売上総利益

過去
最高

1,474百万円
(通期前年同期比 **255.0%**)

EBITDA

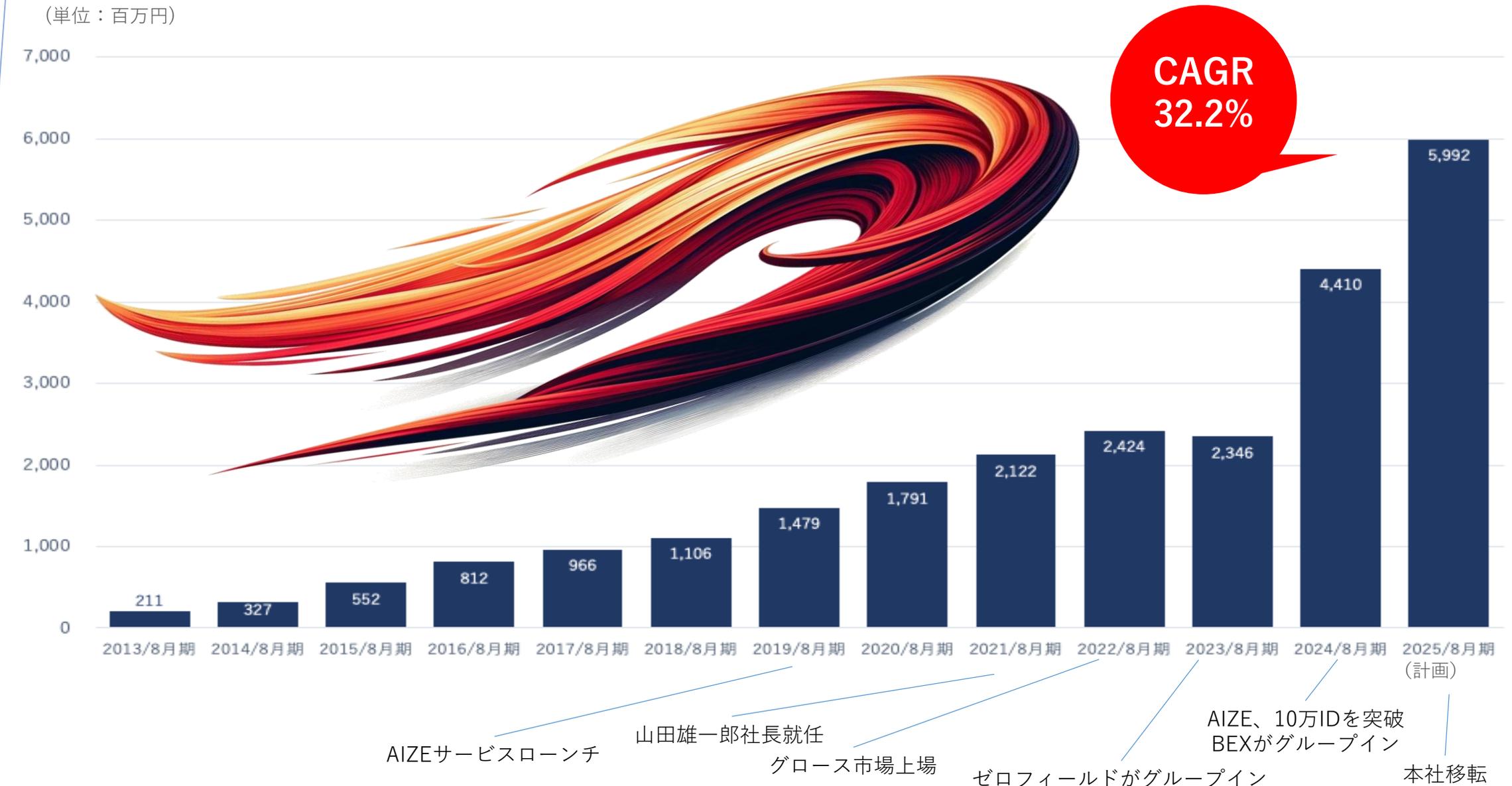
過去
最高

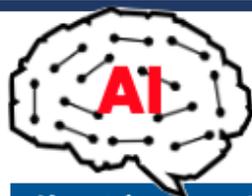
225百万円
(通期前年同期比 **500**百万円の改善)

経常利益

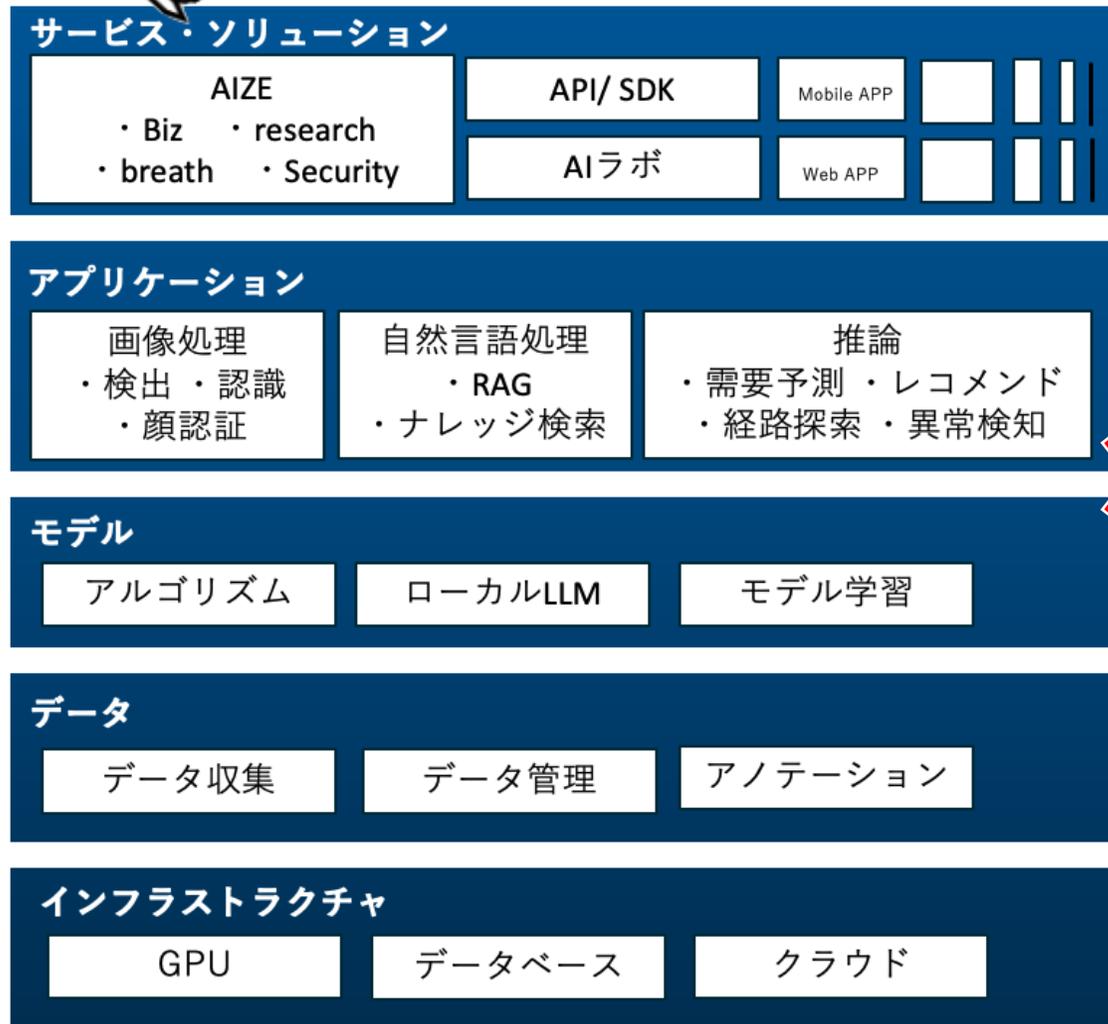
黒字化

47百万円
(通期前年同期比 **337**百万円の改善)





AI プラットフォーム



トリプルアイズグループがもつ、先端テクノロジーの3つの力ですべての”現場”をトランスフォーメーションしていきます。

開発・設計・実装



現場で培われた開発力、設計力、実装力

GPUサーバ



計算資源であるGPUサーバをデータセンターとして保有

AI実装を加速する基盤

会社名	株式会社ゼロフィールド	株式会社BEX
事業概要	GPUサーバーの開発販売、 データセンター運営事業	自動車設計、システム開発
連結開始年月	2023年9月	2024年7月
売上高(24年8月期)	13.8億	3.2億(7-8月の2か月分のみ連結)
広義ののれん償却前営業利益(24年8月期)	1.2億	0.3億(同上)
トリプルアイズとの取り組み	ゼロフィールドとトリプルアイズが オフィスを同居し、 AI×GPUの研究開発を推進	自動車設計の業務効率化AIの共同開発に 着手し、共に部門を立ち上げ



ゼロフィールド、BEXともに、グループイン時にファウンダーへの第三者割当増資を実施し、
将来に向けてベクトル合わせができており、これが業績に寄与

CONTENTS

有償SO発行の背景

2024年4月の2Q開示にて黒字化を発表以降、株価が反転したが、現在の株価はまだまだ低い水準にある。

(売買代金:千円)

(株価:円)



■ 売買代金(千円) ■ 株価 ※売買代金は、当日終値×出来高株式数で簡易的に算出

グループ役員全体で
業績及び企業価値向上に
より強くコミット

グループ3社体制での現在の株価はまだまだ低い水準にある
グループ3社の取締役、執行役員、幹部陣で一丸となり、株価向上と業績向上に
より強くコミットするため、今回有償ストックオプションを発行する

投資家の皆様とともに
株価下落リスクを共有

「株価一定程度下落時の強制行使条項付有償ストックオプション」を今回採用した
ことで、株価が一定程度下落した時、権利行使価額(1,218円)での強制権利行使とい
う一定程度の責任を負わせることで、株価下落を招く企業活動を抑制し、株価下落
リスクを投資家の皆様とともに共有する

今後のM&Aの実施に
伴うSOの発行について

今後も企業価値を継続的に向上させていくため引き続きM&Aを積極的に実施してい
くが、その際も同様にグループの業績と株価の向上のため、発行をしていく予定で
ある。それにより確実な事業成長をコミットしていく。

CONTENTS

第7回有償SO発行の概要

昨年の第5回、第6回に引き続き、第7回有償ストックオプションについても、PL計上の必要のない「株価一定程度下落時の強制行使条項付有償ストックオプション」を採用し、業績への影響をケアするとともに、株価下落のリスクを投資家の皆様と共有する。また、第7回については長期に渡り業績向上のインセンティブを持たせるという観点から、下記の通りベスティング条項を付している。

第7回有償SO	
付与対象者	TRI取締役、執行役員、その他従業員 グループ会社取締役、その他従業員
付与株式数合計	353,400株
権利行使価格	1,218円
勤務条件	あり
業績条件	2025年8月期連結売上高55億円
強制行使条項	連続する 21 営業日の平均値が権利行使価額に70%を乗じた価額(365円)を下回った場合、権利行使期間末日までに権利行使価額にて全株行使する義務が生じます
権利行使期間	2025年10月15日から2030年3月25日
段階行使条項 (ベスティング条項)	2025年10月15日以降 付与株数の40%が行使可能 2026年10月15日以降 付与株数の30%が行使可能 2027年10月15日以降 付与株数の30%が行使可能
オプション料	6円

VISION

トリプルアイズの経営理念

テクノロジーに想像力を載せる



Realize Customize Maximize
TRIPLEIZE



Photo by Rika Takei